教授用資料　本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

全力！コージーのなるほど書写授業 基本編

Vol.1 正しい姿勢・持ち方

作 / 藤井浩治　画 / ホリグチイツ



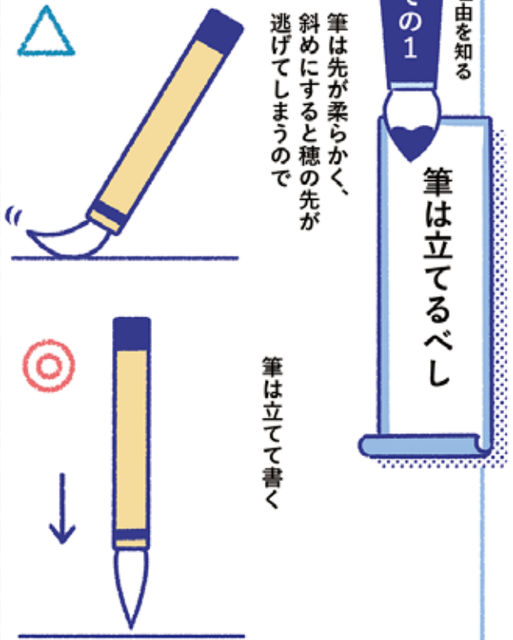
第１回まとめ

理由を教えて納得させるべし

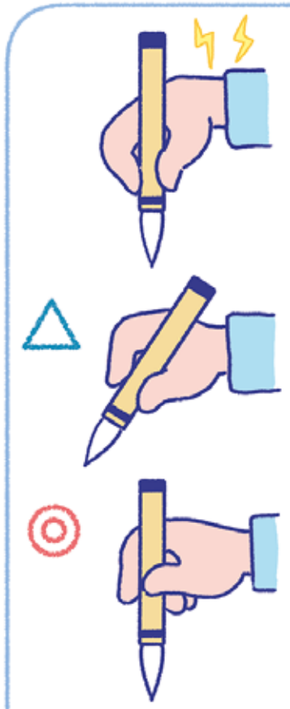
理由を知る その1 筆は立てるべし

筆は先が柔らかく、斜めにすると穂の先が逃げてしまうので

筆は立てて書く



理由を知る その2 親指を横向きにすべし

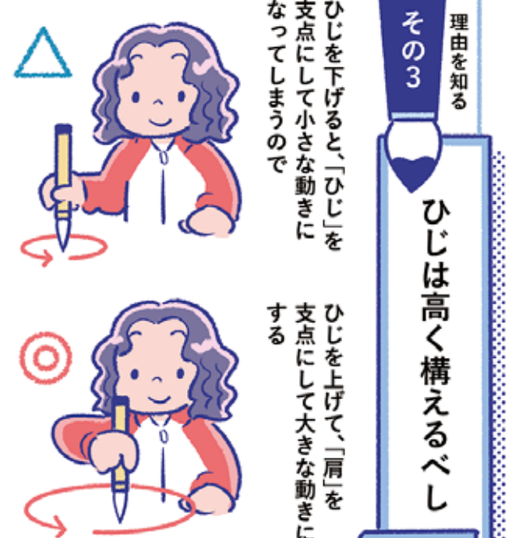


親指が下を向くと手首を曲げないと筆を立てられない

曲げたままだと手がつらくてすぐ筆が斜めになるので

親指を軸に対して横向きにすると筆が倒れにくくなる

理由を知る その3 ひじは高く構えるべし



ひじを下げると、「ひじ」を支点にして小さな動きになってしまうので

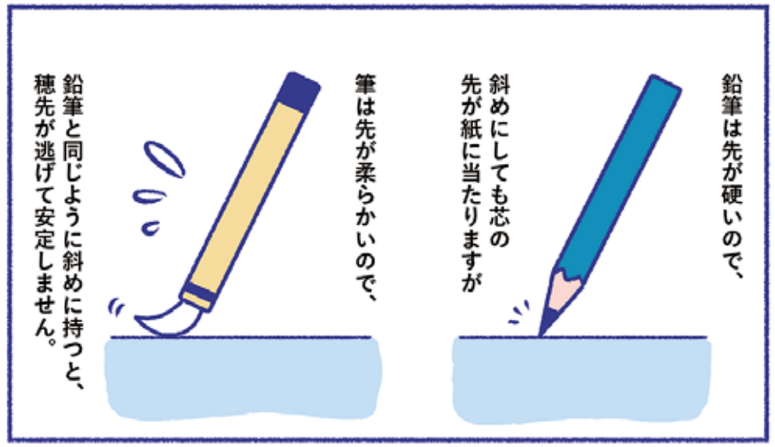
ひじを上げて、「肩」を支点にして大きな動きにする

中学生には、理由を伝えて納得させることが大事です。小学生には、それに加えて一緒に体験することが大事。子どもの記憶に残るようになりますよ

発達段階に応じた指導が大事なんですねえ

教授用資料
発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
光村図書ウェブサイト
光村図書


鉛筆と筆を
比べると分かり
やすいです


鉛筆は先が硬いので、
斜めにしても芯の
先が紙に当たりますが
筆は先が柔らかいので、
鉛筆と同じように斜めに持つと、
穂先が逃げて安定しません。


だから毛筆は
立てて書く
んですよ
子どもたちと
いっしょに
確かめて
みましょう
ホンマや！
POINT
このとき、親指は
筆の軸に対して
横向きに
なるように持ち
ましょう。


POINT
ひじの高さもチェック！
ひじを上げて書くと可動域が
広がるので、伸びやかな線が
書けるようになります


よし！
みんなで
やってみよか！
こんな感じ？
上げたときと
下げたときで
比べてみよう！
こうちゃう？


GOOD!
姿勢を意識
できている！
理由を伝え、
子どもたちが
納得すれば、
結果が出てきますね！


実際に体験し納得すると、子どもたちの
記憶に残りやすいです。
図や写真で
説明してもよいですよ。


分かったからといって、
全員ができている
わけでもないので
できている人を
大きな声でほめて、
その声を聞いて
できていない人に
気づかせるのです
うんうん


成果をほめて、
楽しい学びに
していきましょう！


よーし！
楽しく学べる
ように
がんばる
で！
子どもたちを
「書写好き」に……
熱い思いで
コージーは
次の学校へ……